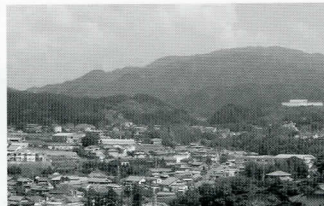


都市農地と まちづくり



大阪府唯一の村だが、大阪市中心部まで20～25kmと近く交通も便利。しかも柵田や金剛山、楠木正成の史跡もあり、自然環境が豊か。このため、都市住民と農家が協働で柵田を維持活用。また観光農園、市民農園など設け、都市住民の憩いの場となっている。

CONTENTS

■ まど

- 新年のご挨拶 1
国土交通省土地・水資源局長 原田 保夫

■ 地域をひらく知恵

- 「農ある暮らし」への希求と市民事業の可能性 2
早稲田大学理工学部建築学科 教授 佐藤 滋
- 都市農地利活用研究会報告 6
調布市深大寺、佐須地区の検討概要
(株)まちづくり工房 代表取締役 大橋 南海子

■ 情報アラカルト

- 大都市郊外の高齢化と「都市農地」の果たす役割 10
明治大学理工学部建築学科 教授 園田 真理子
- 郊外団地再生における「農を楽しむ空間づくり」の試み 14
(財)都市農地活用支援センター 総務部長 山田 繁
計画部調査役 篠原 史子
- 都市の農地と農業の復権と再生目指し「都市農業サミット」開催 21
開催呼びかけ都市 埼玉県川口市

■ アドバイザーのイチ押し事例

- 都市住民と農村住民が農業で結ばれるまちづくり 23
——都市と農村の新しい形での結婚
(株)ユーエヌ土地利用研究所代表取締役 中佐 一重

■ 定期借地権コーナー

- 定期借地権住宅の供給実態調査 27

■ お知らせコーナー

- 「都市農地を活用したまちづくり実務者会議」開催案内 29
- 人事異動 29

■ 編集後記